

令和 8 年度第 7 回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録				
開催日時	令和 8 年 7 月 2 4 日（金）午前 1 0 時 0 0 分から			
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 秘書課会議室			
出席者	委員長	鈴木副市長		
	委員	真銅副市長 奥村法令遵守監察官 小西総務部長 谷田市民部長 増田都市整備部長 稲場建設部長		
	事務局	契約課長、契約課長補佐		
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	総合政策課	
議題 又は案件	奈良市鼓阪小学校跡地を活用した周辺地域活性化構想策定支援業務委託			
決定又は取 り纏め事項	採用			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
<u>1. 議事の概要</u>				
(1) 業務の目的				
鼓阪小学校は過小規模であり、集団活動ができる人数を確保し教育環境を整える必要があったため鼓阪小学校と佐保小学校の統合再編を行い、新小学校の開校に向け、保護者や地域住民等への説明・協議を重ねるとともに、現在、令和 9 年 4 月開校に向け、新校舎の整備を進めている。そのため統合再編となる鼓阪小学校について、講堂を含めた跡地活用の方向性を検討する必要がある。特に、講堂については、地元住民から利活用についての要望が出ているため、実現可能性の高い利活用策を検討することが重要である。 鼓阪小学校の位置する雑司町は歴史的風土保存区域や史跡指定を受けるなど、他の小学校に比べて用途の制約が大きい。 本業務では、地域住民等多様な主体から意見を集めるとともに、土地の方向性や住民の求める機能を十分に整理し、鼓阪小学校区の地域活性化を見据えた実現可能な鼓阪小学校全体の跡地活用の構想を策定するため、民間事業者の知見を活かした支援を受けることを目的とする。				
(2) プロポーザル方式を採用する具体的な理由				
当該業務は、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法に基づく「歴史的風土保存区域」内での実施であり、複雑な法的規制への対応と同時に、地域住民等の多様な意見の把握と実現可能性の高い具体案の提示が求められる。そのため、文化財保護や景観規制に関する専門知識や地域住民とのファシリテーション能力、学校跡地活用の事例知識と実装ノウハウ等、多角的な専門性かつ高度な計画策定能力が求められる。このことより当該業務については、企画提案を求め、その内容や能力などを総合的に比較した上で事業者の選定を行うべき事業と考えるため、プロポーザル方式を採用する。				
<u>2. 審議</u>				
受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。				
<u>3. 結論</u>				
プロポーザル方式を採用した。				